

終業日（12月22日）

コロナ禍の影響が依然として残る中、「ポストコロナ」を見据えた義務教育学校2年目の教育活動を進めて参りました。保護者の皆様には、PTAプロジェクト活動への参加をはじめとして、感染症対策に沿った参観や行事観覧、学芸会への温かいメッセージなど、学校の取組を力強く支えてくださいました。

お陰をもちまして、みんなで目標を共有し、その中で自分がやりたいことや、できることを見付ける力や、取組を振り返り、自分や自分たちが成長したことを喜ぶ子供たちの様子が随所に見られました。深く感謝申し上げます。

24日間の冬休み、ご家族との時間を大切に、年明けにまた元気な姿を見せてくれることを楽しみにしています。

この1年、学校の教育活動への御理解・御協力、ありがとうございました。



終業日の風景
プリントの整理や
お掃除に大忙し！？

気持ちよく、おいしい給食の時間に（12月19日）

給食の時間では、対面しての喫食や、会話を交わすことによる飛沫感染が懸念されることから、「会話をせずに食事をする」ことを続けてきました。この度、子供たちが感染症予防をしながら楽しい学校生活を両立させていくという視点から、文部科学省より対処方針の変更についての事務連絡がありました。

これまで通り、座席配置や換気等に留意し、給食中は「大声での会話を控える」ようにしていきます。

給食の時間はみんなが気持ちよく過ごすことができ、おいしく食べられることが大切です。そのためには、状況や場面に即してふるまい方を考えたり判断したりすることが必要になります。

12月19日～22日の間、栄養教諭が各教室を回り、給食のマナーを確認したり、「なぜそのマナーが大切なのか？」を改めて考えたりする時間を取りました。



「ルールを守ってさえいればよい」と考えることを止めてしまうのではなく、様々な仲間の様々な感じ方があることを踏まえ、「マナーの大切さ」について自分なりに考えていってほしいと期待しています。

ご家庭でもぜひ、話題にしてください。